

令和元年六月二日(日)

青森県支部俳句大会成績

大畑善昭選

天位 棚田へと水押し上げて代田なる

高野万津江

地位 凱旋の少女凜凜しや花の馬場

永倉 みつ

人位 あたたかや母にはわかる嬰ことば

飯田 知克

大会高得点句

内よりの力に弾け春キャベツ

大川 恵子

山に来て海を見てゐる日永かな

花田 晶子

田の神を誘ふ畦を塗りにけり

鈴木志美恵

しんがりの遅れてをりぬ蟻の列

戸川美重子

おぼろの夜妻に自由といふ時間

野村 英利

代掻を了へて一村輝かす

中村しおん

供養とは生きて行くこと新樹光

秋谷美智子

のどけしや童画のやうな一輛車

五十嵐かつ

減反と決まりし田にも水を張る

小笠原聖子

腕白の手に正座する青蛙

戸川美重子

自己流の朝の体操草若葉

能登谷明子

名峰をそびらの天守花の雲

高田美津子

木蓮の白いつせいに翔ぶかたち

橋本 惇子

徘徊の母陽炎に包まれて

牧 ひろし

薫風や乳飲む吾子は五指ひろげ

安田真知子

畦を焼く少年すでに農の顔

小笠原聖子

逃水に見えかくれする余生かな

中谷 恭子